守る。潤す。美しく。



さくらの里で、地域とともに。

三春ダム

国土交通省 東北地方整備局 三春ダム管理所



私は、三春ダム。

さくらの里で、地域とともに暮らしています。

1998年（平成10年）、三春ダムは福島県のほぼ中央を流れる阿武隈川の右支川である大滝根川に、
さまざまな役割を果たす多目的ダムとして完成しました。
暮らしを潤し、地域の発展につなげていくために、幅広く活用されています。



「さくら湖」

春に梅、桃、桜が
一度に咲くことから
その名が付けられたといわれる
三春。

恵まれた自然、
あざやかな四季の移り変わりが
特徴です。

この美しい地に広がる、
ヤツデの葉のカタチの貯水池が
「さくら湖」。

周辺一帯を含め、
自然との調和を見事に保ちつつ、
地域の皆さん、
各地から訪れる皆さんに
くつろぎを与える場として、
親しまれています。

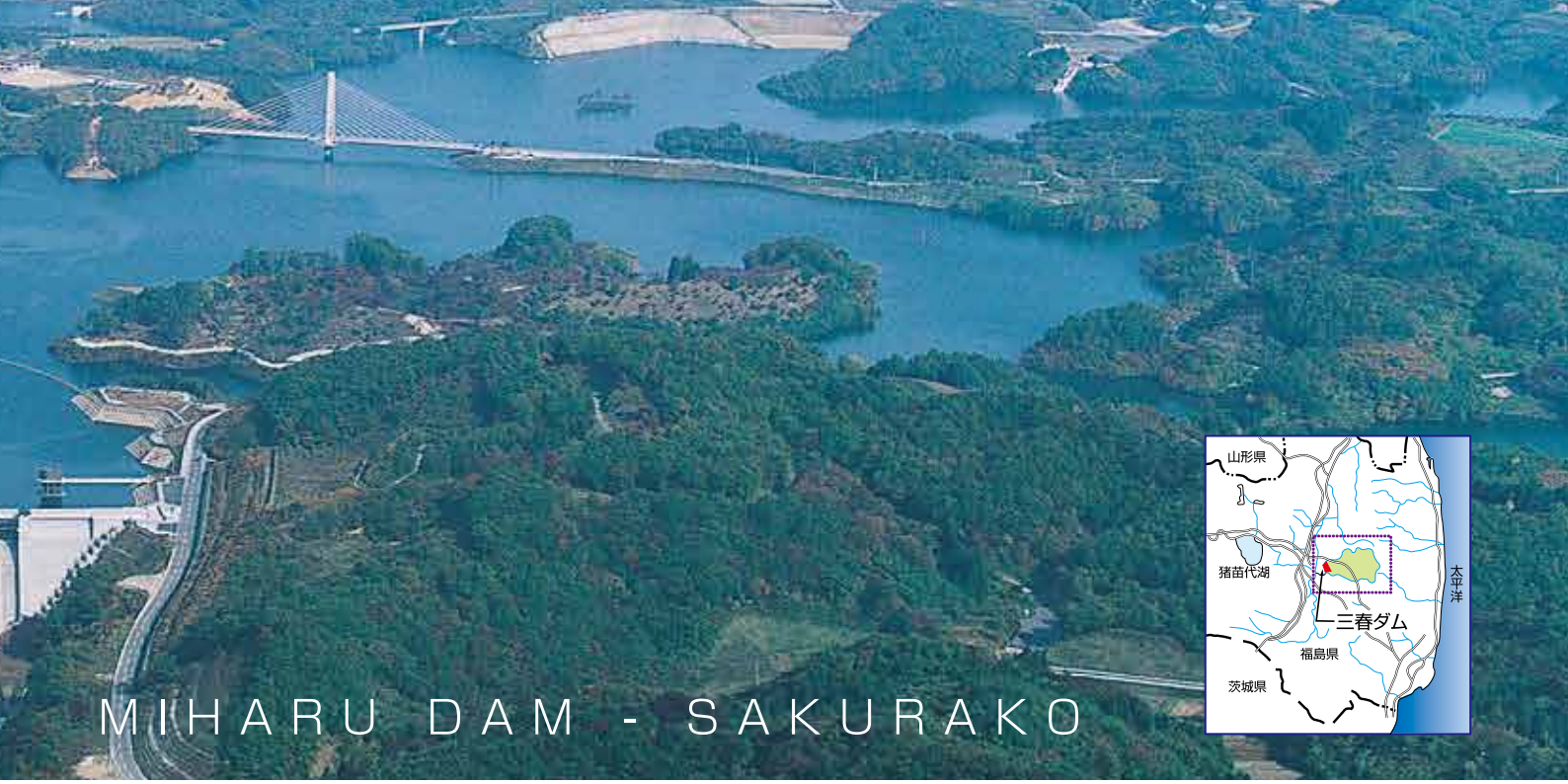
●ダムの緒元

型式	：重力式コンクリートダム
堤頂標高	：EL336m
堤高	：65m
堤頂長	：174m
堤体積	：195,000m³

●貯水池（さくら湖）

集水面積	：226.4km²
湛水面積	：2.9km²
総貯水容量	：42,800,000m³
洪水調節容量	：28,000,000m³

集水区域



MIHARU DAM - SAKURAKO

洪水から守る

阿武隈川では、大雨が降ると幾度か大規模な洪水がおこり、
尊い人命と財産が失われることがありました。
三春ダムでは、想定氾濫区域となる三春町、郡山市、本宮市、二本松市、
福島市に対し、洪水被害の軽減を果たしています。



美しい川を守る

晴天の日が続くと、川の水が減少し動植物に影響が出ます。
三春ダムでは、水を適切に供給し川の流れを保つことで、
動植物のあるべき姿、うるおいのある景観を守っています。



田畑のかんがい

三春ダム周辺地域は、年間降水量が1,100mm程度(日本の平均は
約1,700mm)と少なく、田畑の水の確保に苦労してきました。
三春ダムでは、水田や畑のかんがい用水として三春南部や
郡山市東部地区、白沢地区(本宮市・二本松市)に水を補給しています。



生活に、産業に

さくら湖に貯めた水が、
生活用水(本宮市、郡山市、三春町、田村市)や
工業用水(日本化学工業用水)に使われ、
地域の生活や産業を支えます。







発電もしています

三春ダムには水力発電設備があり、ダム管理に必要な電気を発電しています。
余った電気は電力会社へ売却しています。

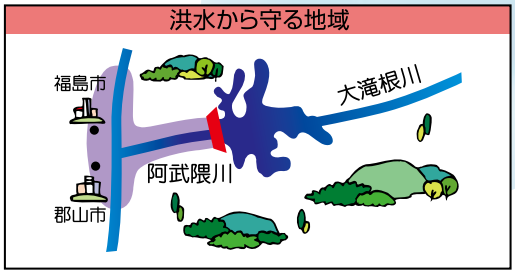


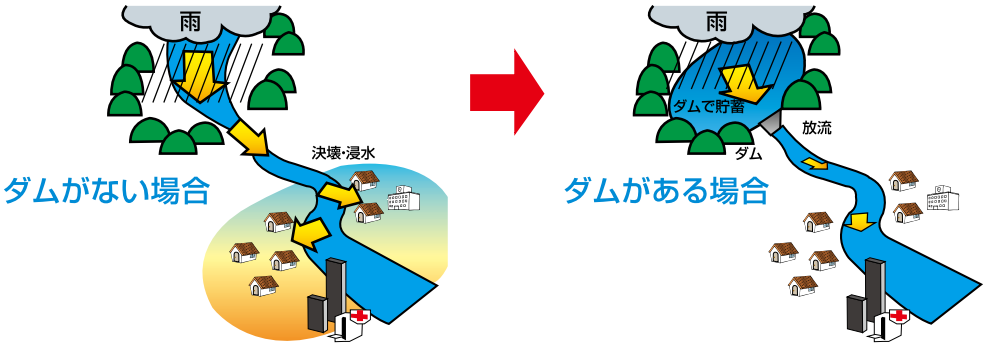


地域を守るため、洪水被害の軽減につとめています。

地域の人々の暮らしを守ります

ダムがない場合、大雨が降ると川は氾濫し大きな被害を出すことがあります。三春ダムでは、洪水調節を行って川の氾濫を防ぎ、大滝根川と阿武隈川に住む人々の暮らしを浸水被害から守ります。





流量を調節して、下流の洪水被害を軽減します

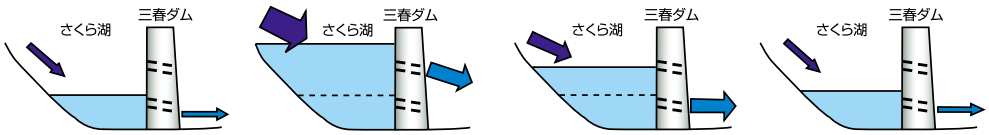
三春ダムでは、台風や大雨によって流れ込んでくる水を、あらかじめ空けておいた貯水池に貯めこみ、下流には安全な分だけ水を流すことにより、ダムがなかった場合に比べて下流の川に流れる水の量を減らします（洪水調節といいます）。ただし、異常な豪雨で計画より多い水が流れ込んできた場合、ダムに貯め込む量にも限界があるため、下流に流す量を徐々に増やし、流れ込んでくる水の量と同じ量を上限として流すことがあります。

①台風や大雨による洪水が起きやすい季節には、前もって洪水を貯めるための準備をします。

②大雨の時、さくら湖にはたくさんの水が入りますが、下流には少しずつ流して、水を貯めます。

③雨が弱くなり入ってくる水が少なくなると、洪水が起きない程度に貯めた水を少しずつ流します。

④雨がやむと、水位を下げて次の洪水に備えます。



放流警報

洪水調節の際など、ダムのゲートを開けて通常の放流量より多く放流するため、川の水位が高くなり、流れが速くなるので、サイレンを鳴らしたり、情報板に表示して皆さんにお知らせします。このとき河原に近付かないよう注意して下さい。

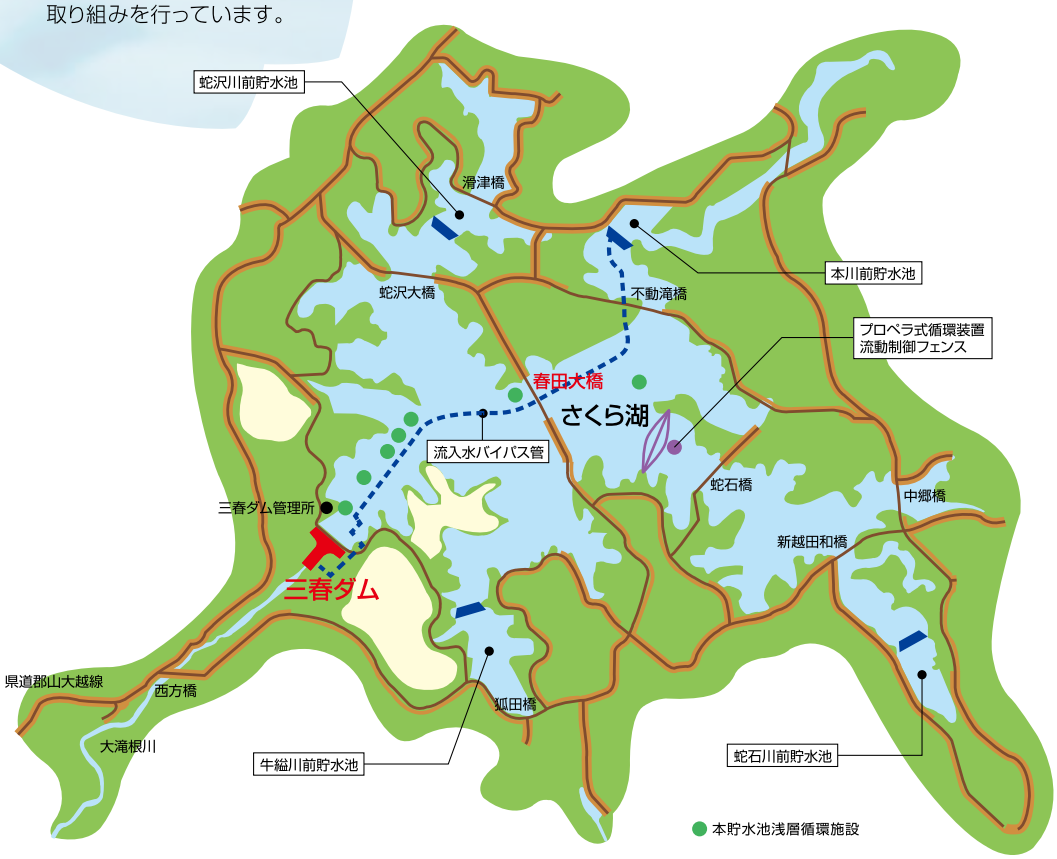


※洪水調節の実績は、三春ダムのホームページで公開しています。

さくら湖の水質保全に取り組んでいます。

三春ダムの水質は?

さくら湖では、水温が上昇する夏期になると植物プランクトン(アオコ)が発生し、水質が悪化する場合があります。この水質を改善するには、流域内での下水道の整備などが必要ですが、実施されるまで長い時間がかかります。そこで、三春ダムでは植物プランクトンの増殖を抑制し、良好な水質を確保するためにさまざまな取り組みを行っています。

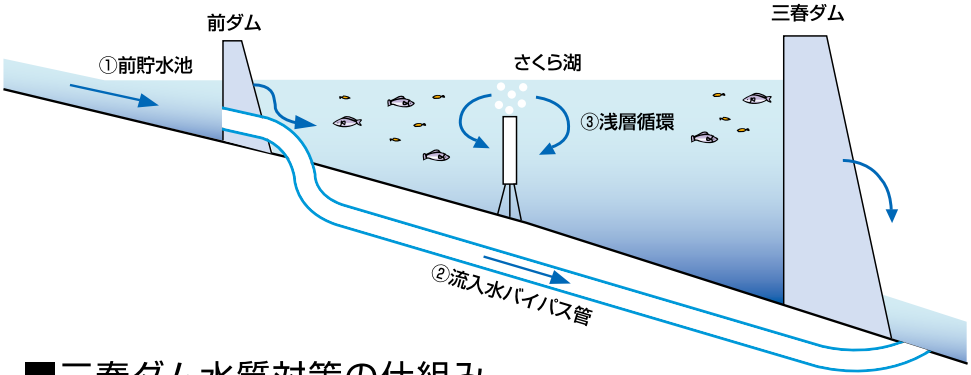


水質保全の取り組み

①前貯水池
前貯水池で、植物プランクトンの栄養源となる成分(窒素、リン)を沈め、さくら湖に栄養源が入りにくくしています。

②流入水バイパス管
植物プランクトンの栄養源(窒素、リン)を多く含んだ流入水をさくら湖に入れないで、直接下流に流すことができます。

③浅層循環
植物プランクトンは、光と温度で増殖します。三春ダムでは、10~20mの水深から空気を吹き上げて、水面の温かい水と低い温度の水をかき混ぜて水温を下げます。また、かき混ぜることで水面の植物プランクトンを光のあたりにくい水中に沈め増殖を抑制しています。



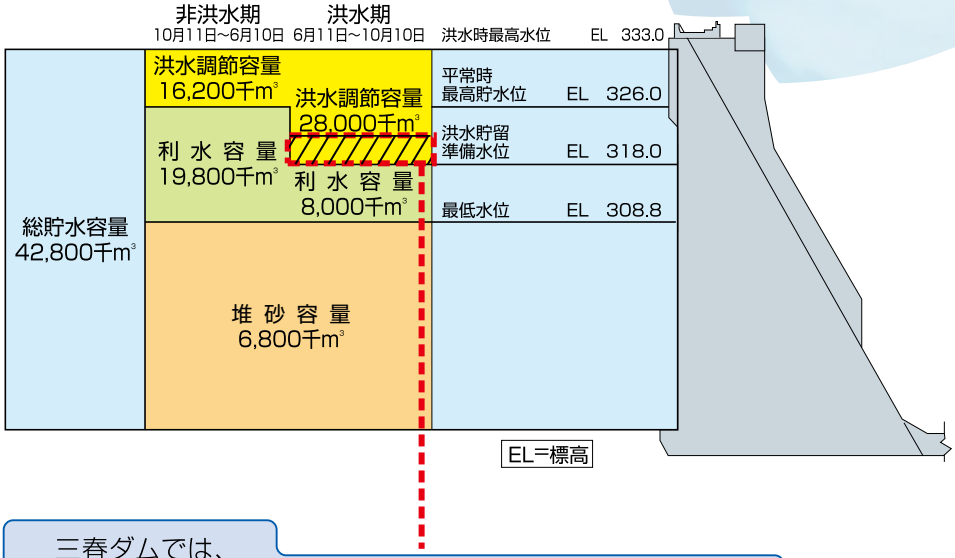
■三春ダム水質対策の仕組み

新たなダム管理に向けて。

川の環境を考えた管理

ダム下流河川の環境を守るためなど、河川環境の改善のために、
洪水調節容量の一部を活用しています。

■貯水池容量配分図



三春ダムでは、
洪水調節容量を利用して「リフレッシュ放流」をしています。

リフレッシュ放流（ダム下流河川のより良い環境を守るための放流）

ダム下流の河川は、一定量の水しか流れないために、夏場は川底の石に藻が付いたり、臭いの原因となる“よどみ”ができやすくなり、環境・景観に悪い影響を及ぼします。そこで放水量を増やして定期的に川の汚れを洗い流そうというのがリフレッシュ放流で、三春ダムでは、洪水期（6～10月）に2週間に1回程度の割合で放流しています。





リフレッシュ放流（20m³/秒）によって“よどみ”に溜まった藻類などが洗い流されました。

地域とともに取り組んでいます。

さくら湖水源地域ビジョン

「さくら湖水源地域ビジョン」は、流域の住民、自治体、ダム管理者が一体となり、さくら湖流域全体が暮らしやすく元気になるための方法を考え、誰が何をどうすれば良いのかを示しているものです。
このビジョンでは、さくら湖流域の目標像を「里山の環境と知恵をつなげて日本一美しいさくらの里を築く」とし、さくら湖流域のテーマを次のように定めてみんなで動き始めています。

地域の自然を知り、守り育てる。

さくら湖流域を流れる川の水質、生き物、森林や田畑などの情報を集め、良く知り、未来まで守り育てていくことを目指しています。

地域の資源を、活かす。

さくら湖流域の祭りなどの歴史、文化、多数の桜の木などを大切に守り、観光資源として確かに伝えていくことを目指しています。

地域をつなげ、発信する。

さくら湖流域に生きる人々の強いつながりをチカラに、全国へ向けさまざまな魅力をアピールすることを目指しています。

地域に開かれたダム

三春ダムは全国に先駆けた「地域に開かれたダム」として、三春ダム資料館をはじめとした周辺施設を一般に開放することによって、広く皆様にご利用いただいています。



三春ダム資料館
1階の展示ギャラリーでは様々な作品展示をしています。また2階の展示室ではダムの役割やしくみについて楽しみながら学ぶことができます。



石畑水生生物観察園



三春ダム見学会







さくら湖自然環境フォーラム



放流見学会



漕艇コース



さくら湖マラソン



みずウォーク







さくら湖自然教室

三春ダム周辺案内



三春ダムの略歴

昭和43年12月	ダムの予備調査を開始
47年 5 月	大滝根川調査事務所設置
50年 4 月	三春ダム工事事務所に組織改正
54年 8 月	ダム基本計画告示
55年 4 月	水特法による指定ダム告示
59年12月	ダム建設に伴う損失基準の妥結 (約160世帯の移転)
63年11月	ダム本体工事着工
平成 2 年10月	ダム本体コンクリート打設開始
4 年12月	ダム本体コンクリート打設完了
5 年 4 月	「地域に開かれたダム」に指定
6 年 5 月	ダム湖名「さくら湖」に決定
8 年10月	試験湛水開始
9 年 7 月	資料館オープン
10年 3 月	三春ダム竣工
10年 4 月	三春ダム管理所に組織改正
10年 8 月	洪水において、東北地方建設局(当時)で初めて 特別防災操作(全量カット)を実施
平成11年 9 月	熱帯低気圧による洪水の際、 2回目の特別防災操作(全量カット)を実施
11年 5 月	土砂還元試験スタート
12年 6 月	ダム管理において弾力的管理(リフレッシュ放流)をスタート
12年11月	「さくら湖自然環境フォーラム」スタート
13年4･5月	管理開始以降初めて阿武隈川阿久津水位観測所 (郡山市)の水量を保つために放流量を増やした
14年 7 月	台風6号による洪水の際、 3回目の特別防災操作(全量カット)を実施
19年 2 月	「さくら湖水源地域ビジョン」策定
23年 3 月	東日本大震災(ダムには大きな被害なし)
23年 9 月	台風15号による洪水の際、4回目の特別防災操作 (全量カット)を実施
29年10月	台風21号による洪水の際、5回目の特別防災操作 (全量カット)を実施
30年 3 月	ダム竣工から20周年
令和元年10月	台風19号による洪水の際、管理開始以降 最大の流入量(約615㎥／s)を記録
6 年10月	都市・地域再生等利用区域の指定 (河川のオープン化)

さくらの里で、地域とともに。

三春ダム

国土交通省 東北地方整備局 三春ダム管理所

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
TEL. 0247-62-3145　FAX. 0247-62-3170

三春ダムwebサイト　**リアルタイム情報配信中!**

http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/

※リアルタイム情報:ダムの貯水位や流入・放流量などの情報が閲覧できます。

(2026.03)